

# 北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会 開催結果

## 1. 日 時

令和6年3月18日（月）9時30分から11時00分まで

## 2. 場 所

京都府立中丹勤労者福祉会館 4階 大会議室

## 3. 出席者

委員29名（うち代理5名）  
オブザーバー1名  
（別紙 出席者名簿参照）

## 4. 当日資料

別紙のとおり

## 5. 議 題

- 第1号 地域公共交通計画に係る令和6年度実施計画（案）について
- 第2号 宮津線100周年記念事業実行委員会について
- 第3号 令和6年度事業計画（案）について
- 第4号 令和6年度収支予算（案）について

## 6. 主な意見

### 〈第1号 地域公共交通計画に係る令和6年度実施計画（案）について〉

- 施策数が多く、複数年にわたるものや実施の難易度が高いものもあるため、優先順位付け、メリハリ付けが必要である。
- 駅は子供のころからなじみのある場所だったのが、無人駅となり衛生的な問題も懸念されるようになった。そうした観点から「ほっとしろん」を立ち上げたが反響はよい。高齢者が駅を楽しみとして集まってきており、駅の魅力は高いように思う。食事をできるようにすれば家族連れもみられるようになった。ボランティアで行っているため、自主性があり笑顔が絶えず、それがお客様にも伝わっていると思う。好評なご意見も多数いただいております。高齢者の居場所づくりや子供たちの楽しみにもつながっている。こうした取組が無人駅で広がってほしいと考えている。
- 下山田区の地元にある与謝野駅では100周年を迎えることから委員会を設置した。駅前を中心としてこれからのまちの発展につながるような取組を進めている。桜プロジェクトの取組も進めているので、駅でぜひご覧頂きたい。クラフトビール等の取組も進めており、プロジェクトがひとつずつスタートしている。

- 与謝野町では地域のイベント、民間の地域資源、空き家などを活用する他、駅の待合環境整備を進めている。駅の実施計画にも反映できるようにしっかりと取組を進めていきたいと考えている。
- 沿線市町村の立地適正化計画について、国の補助金制度もあるので、ぜひ策定を促進していただきたい。
- 駅はにぎやかな方がいいと認識しており、地元の方の利用、観光客の誘致という2本柱で取り組んでいる。観光客についてはある程度施策が進んでいる面もあるが、地元住民については今後も取組が必要。地元住民については、自転車やレンタサイクル等を活用した事例を参照しながら、地域交通が活発になって高齢者が駅を利用しやすいような体制を整えていきたい。
- 丹後屋では、ビール製造がおこなわれており他府県にも出荷されている。鉄道を利用してアクセスすることでビールを味わうこともできる点は、自動車でのアクセスとの大きな違いであるように思う。
- 与謝野ホップを活用した取組を現在も進めており、クラフト列車等の取組も行っている。京都丹後鉄道の観光列車を利用して頂いて醸造所を見学するようなルートも想定している。
- 観光列車はなあかりについて、北陸新幹線が開業したが敦賀・関東圏・長野県等からも観光客が呼び込めるものと考えている。運行は期間限定となっており、永続的に運行するものではないが、今後魅力を発信して、来年・再来年と継続した運行に向けて取組を進めていきたい。
- 観光面では鉄道その先の交通手段をどのように確保するのが重要。昔、鉄路から海路へという取組もあった。今ある資源をどう活用するのか、本計画は地域住民や中高生に対する取組も充実しており、期待している。中学生向けの優待パス等の記載もあったが、どういうコンセプトでどんな学びや効果を期待するのか、という点を名称等で押し出していけるとよいのではないかと。青春18きっぷ等は良い例であるように思う。
- 外国人向けのプロモーションについて、この地域にどういう方が来場しているのか、どのように来ているのかという点はコロナ禍を経て変化している部分もあるので、改めて実態把握が必要であり、戦略を想定した上で、プロモーションの強化方策を検討した方がよいように思う。京都市観光協会では今年度に案内表示について、留学生の協力を得て調査を行った。丹鉄についても地元住民と連携してフィールドワークを行い、外国人にとってどのような点が不便になるのかという点を調査することも有意義かもしれない。地震災害等の外国人への情報発信については、スマホのプッシュ型の情報発信を検討しており、外国人向けにどのよう

な形式がよいのかを模索している。海の京都DMO等でも検討されていると思うので、役割分担を明確にして対応していくことが必要である。

- 利用促進も大変だが、今後10年では人材確保の難易度が上がるだろう。働く環境の見える化が重要と考えており、その内容を中高生にPRしていくことが必要で、積極的に働く姿を発信してほしい。イベントが目白押しになっているが、観光客が来場した際に、住民が地域の魅力に気づいてもらえるかが重要だと考えている。子どもにも力を入れており良い計画になっていると思うが、施策についてアンケートを実施し、どのような属性層が対象となっているのかをしっかりと把握していくことが重要だと考えている。
- バス等について枝線の持続が難しくなっている。全体的にはキャッシュレスをどう進めるかが重要。200円バスも継続が非常に困難になるだろう。観光客の影響により地元住民の方が公共交通機関を利用できないという状況も見られ、観光客も200円でよいのかという声もある。宮津港の「みなとオアシス」を活用し、栈橋を造れば海を使った公共交通ができる。鉄道や船などいろいろな公共交通をさせることで、この地に来た喜びにもつながるのではないか。

#### 〈第2号 宮津線100周年記念事業実行委員会について〉

- 特に意見無し。

#### 〈第3号 令和6年度事業計画（案）について〉

- 特に意見無し。

#### 〈第4号 令和6年度収支予算（案）について〉

- 特に意見無し。